

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 9 日 (7 名参加)
平成 29 年 12 月 9 日～12 月 13 日
平成 29 年 12 月 14 日 (7 名参加：最終確定)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 16 名参加 / 全 19 名 (個人評価は全員提出)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3	6	1	0	10 (9)

前回の改善計画	
<p>1. 利用者処遇に関する協議を深める 9:00、15:00 のミーティング内容を記録し、全スタッフで共有する。これにより日々変化する利用者の暮らしに迅速に的確にサービス提供に反映させていく。</p> <p>2. サービス開始後の状況把握の仕組み作り 初期アセスメント後のサービス提供時に得られた情報を、随時アセスメントに反映させ共有できる仕組みを構築する。具体的には、「情報追加が容易なアセスメント書式」を担当を中心に作成し、様々な暮らしに関する情報を集約できる仕組みを考案する。</p>	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<p>1. 月例会議に加え、毎日の小会議を導入。スタッフ間で毎日情報共有を行い、回覧を用いて周知している。</p> <p>2. サービス開始時のアセスメント書式をバージョンアップ。詳細な情報を共有できるシステムとなった。</p>	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	8	0	0	12 (7)
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	10	0	0	12 (7)
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?	3	9	0	0	12 (7)
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	6	1	0	12 (7)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ● 今年度に導入した毎日の小会議の徹底、情報共有システムにて記録及び承知ができています。 ● 本人の不安や家族の心労に配慮した言葉かけができています。 ● 看護師も共に会議に参加することで細かい伝達ができている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ● 不安になっている認知症ご利用者に対し、馴れ馴れしい声かけや親身でない発言がややみられる。 ● 訪問件数が多く訪問先での時間がとり辛い。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
サービス開始後に得た追加情報を視覚的に共有しやすい新書式を導入。“私のこだわりシート”(※仮名)ご利用者の思い・ご家族の思いを把握した上で、在宅生活を支援する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 9 日 (7 名参加)
平成 29 年 12 月 9 日～12 月 13 日
平成 29 年 12 月 14 日 (7 名参加：最終確定)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 16 名参加/全 19 名 (個人評価は全員提出)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	3	6	2	11 (8)

前回の改善計画

1. 利用者の「暮らしの目標」の把握と実践
個々の利用者の「課題及び目標等」を簡略化して確認しやすいよう一覧化し(お花方式)、全スタッフが意識して日常のケアに関わる事が出来るように取り組む。利用者担当が作成し周知、随時の更新を担う。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用者担当制を活かして取り組んでいたが、共有する点で課題があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	6	5	1	12 (7)
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	8	4	0	12 (7)
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	8	6	0	14 (5)
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	6	6	0	12 (7)

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 個別援助計画書のモニタリングを介護職員に割り振ることで担当者の当面の目標を把握、評価ができている
- 処遇会議、ひもときシートで課題、目標を抽出し情報共有している。
- ご自身やご家族の希望を聞き出せるように工夫している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ご利用者の「課題及び目標」等の簡略化して確認しやすくする取り組みができていない。
- 1人1人とゆっくり話をする時間がない。
- 本音を聞き出せていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- “私のこだわりシートを用いて、月例会議や日々の小会議にてその方の“～したい”を共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 9 日 (7 名参加)
平成 29 年 12 月 9 日～12 月 13 日
平成 29 年 12 月 14 日 (7 名参加：最終確定)

3. 日常生活の支援

メンバー 16 名参加／全 19 名(個人評価は全員提出)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	3	8	0	11 (8)

前回の改善計画

1. 安定した良好な身体状態維持へのアプローチ
 通い、泊りだけでなく、訪問時にもバイタル測定し、体調不良を早期発見・対応することで安定した暮らしをサポートする。

2. 全スタッフで「暮らしを支える」視点を持った支援を実践
 担当がその人のスペシャリストとなるために、担当者会議への出席、担当利用者の「課題や目標」及び「望む暮らし」の把握・実践を行う。具体的には、「お花方式」の目標作成・実践、他職種協議に参加し、専門職の意見や家族の思い等を含めた視点を持てるように取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果

以前の暮らし方を視覚的に共有する事が困難であった。共有する為の仕組みが必要。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	9	0	11 (8)
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8	3	0	0	11 (8)
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	8	1	0	11 (8)
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	9	2	0	0	11 (8)
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	8	3	0	0	11 (8)

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 身体的、精神的変化に注意し即時対応を心がけている。
- 利用者の状態に合わせて、スタッフ間で話し合い、その時に必要な介護を行えている。
- ③④⑤職員同士で必ず共有している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 昔の暮らしには目を向ける事ができていない。
- 本人の視点に立って思いを汲み取る視点が足りていない。
- 訪問回数が多い方の生活は把握しやすいが、通いや訪問回数の少ない方の生活パターンは把握しにくい
- ご利用者の過去の生活は把握できていない事もある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- “私のこだわりシート”の情報へ以前の暮らしを落とし込み、声にならない声を“ひもときシート”で言語化する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 9 日 (7 名参加)
平成 29 年 12 月 9 日～12 月 13 日
平成 29 年 12 月 14 日 (7 名参加：最終確定)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 16 名参加 / 全 19 名 (個人評価は全員提出)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	2	7	1	10 (9)

前回の改善計画	
<p>1. 生活の把握と適切なサービス提供の実践 「日常生活状況把握シート」を用いて、利用者の「生活」を把握して支援する。</p> <p>2. 「地域での暮らし」の支援体制アプローチ 独居の利用者を中心に、担当の自治会長や民生児童・老人福祉員などを把握し、連絡して連携体制を整える。</p>	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	6	5	0	11 (8)
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	3	5	1	11 (8)
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	4	6	0	11 (8)
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	2	4	4	11 (8)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ● 本人にアセスメントケース記録入力や小会議で共有している。 ● 編み物サロン・書道教室の開催・宣伝・地藏盆参加 ● 家族等の繋がりを意識したサービス調整を行っている 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ● 訪問回数の多い独居の方の状況は把握しやすいが、訪問回数が少ない方や通いの方は把握しにくい ● まだまだ自宅で生活できそうなご利用者が毎日通っているため地域との関わりが減っている。 ● 利用日以外、自宅でどのように過ごされているのか、わからない場合がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>独居の利用者を中心に、担当の自治会長や民生児童・老人福祉員等との連携を相談する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 9 日 (7 名参加)
平成 29 年 12 月 9 日～12 月 13 日
平成 29 年 12 月 14 日 (7 名参加：最終確定)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 16 名参加 / 全 19 名 (個人評価は全員提出)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	6	3	1	10 (9)

前回の改善計画
<p>1. 地域資源の活用 地域の生活を支えるに当たり必要な「地域資源の調査」を行う。</p> <p>2. 地域生活とはの理解を深める取組み 地域生活支援に関する勉強会を 4 月、10 月頃に開催し、知識・理解を深める。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
イベントなどは回覧版当で情報を得られるが、利用者の生活支援としての地域資源を把握しきれていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	5	5	0	11 (8)
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	4	0	0	11 (8)
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	9	2	0	0	11 (8)
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	10	1	0	0	11 (8)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア活動を募集し一般の方にも活動してもらっている。 ● 柔軟に支援できている (24 時間支援・急変対応等) ● 急な退院からの看取りケアを行った。 ● 体調不良の方など独居であれば泊まりを利用して頂けたり、訪問など臨時で入れている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域資源を発掘できていない ● 事業所のみで対応してしまいがちである。 ● 職員が直接地域の方と関わるのが少ない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ● 必要であっても小規模多機能で補え切れない内容を検討。地域資源でできる事を調査する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 9 日 (7 名参加)
平成 29 年 12 月 9 日～12 月 13 日
平成 29 年 12 月 14 日 (7 名参加：最終確定)

6. 連携・協働

メンバー 16 名参加/全 19 名 (個人評価は全員提出)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	9	2	0	12 (7)

前回の改善計画	
1. 地域コミュニティへのアプローチ 「編み物サロン」を広く広報し、より大勢の地域の方に参加して頂けるように取り組む。 2. 地域行事への参加 地域行事へ年 3 回以上、参加する。 3. 地域情報の事業所内共有 管理者及び介護支援専門員が参加する地域ケア会議等の議事録を全スタッフに回覧し、地域の情報を共有する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
編み物サロンに追加し、書道教室を開催。地域行事へも積極的に参加している。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	5	2	3	11 (8)
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	3	2	4	11 (8)
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	2	4	4	2	12 (7)
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	5	4	1	11 (7)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ● 編み物サロンに加え書道教室を開催し地域交流を図っている。 ● 利用者家族が訪問しやすい環境を作っている。 ● 情報共有されている。地域のボランティアさんたちが訪れている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ● 施設を訪れる地域の方が少なく、認知度も低いと考えられる。 ● まだまだ地域での行事など知らない事も多い。 ● 会議やイベントには参加できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域ケア会議、地域イベントには必ず参加をする。 ● “小規模多機能型居宅介護” をより分かりやすい表現で説明できるパンフレットを作成。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 9 日 (7 名参加)
平成 29 年 12 月 9 日～12 月 13 日
平成 29 年 12 月 14 日 (7 名参加：最終確定)

7. 運営

メンバー 16 名参加／全 19 名 (個人評価は全員提出)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3	9	0	0	12 (7)

前回の改善計画	
1. 地域との協働イベント	
<ul style="list-style-type: none"> ● 年 4 回の災害・火災時等対応訓練を地域住民と連携して実施する。 5、8、11、2 月に開催 ● 年 2 回以上、地域と連携したイベントを開催する 「夏祭り」「もちつき大会」 	
前回の改善計画に対する取組み結果	
利用者重度化に伴い、もちつき大会は中止。他のイベントを企画検討中。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	7	1	0	11 (8)
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	4	1	0	11 (8)
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	4	0	1	11 (8)
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	6	3	0	11 (8)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ● 夏祭りや編み物サロン、書道教室を開催している。 ● 苦情に対し速やかに情報共有、対策を行っている。 ● 災害、火災訓練は定期的に行っている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時等、避難訓練は事業所だけで完結している。 ● 地域と協働した取組みができていない。 ● もちつき大会は今年から中止になった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ● 自治会で実施されている、おかえり活動を行う。 ● 地域ニーズを把握する為の取組みを検討する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 9 日 (7 名参加)
平成 29 年 12 月 9 日～12 月 13 日
平成 29 年 12 月 14 日 (7 名参加：最終確定)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 16 名参加/全 19 名 (個人評価は全員提出)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1	8	2	0	11 (8)

前回の改善計画
<p>1. 個別ケア、自立支援に基づいたケアの質向上 介護技術・知識や視点の基本的スキルに関する勉強会を年 4 回計画・実施する。自立支援を念頭に各利用者に適したケアの質向上を目指す。</p> <p>2. リスクマネジメント ヒヤリハット報告書数、10/月以上を目標とし、事故に繋がる前に防止する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
現在はヒヤリハット件数 10 件以上を達成している。事故を予見する意識が強化された。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	6	1	1	11 (8)
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	2	4	2	11 (8)
③	地域連絡会に参加していますか	2	1	3	5	11 (8)
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	8	2	1	11 (8)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ● 毎月の勉強会、地域密着協議会の研修に定期参加できている。 ● 事故発生時は直に対策会議を開催し再発防止に努めている。 ● 会議後に定例勉強会を開催している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ● 介護技術、知識に関する勉強会が年 4 回計画できていない。 ● 地域連絡会に介護職員が参加できていない。 ● ヒヤリハット 10 件/月を挙げられていない。 ● ヒヤリハットはまだまだ少なく思う。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ● ヒヤリハット件数 10 件/月以上。事故を未然に防ぐ。 ● 外部研修に出席した後の伝達研修を行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 9 日 (7 名参加)
平成 29 年 12 月 9 日～12 月 13 日
平成 29 年 12 月 14 日 (7 名参加：最終確定)

9. 人権・プライバシー

メンバー 16 名参加/全 19 名 (個人評価は全員提出)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3	2	5	1	11 (8)

前回の改善計画
1. 高齢者尊厳、プライバシーに関するアプローチ 権利擁護事業、成年後見制度についての勉強会を年 1 回以上実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果
研修実施済み。プライバシーへの配慮を物的環境から整えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	4	0	0	12 (7)
②	虐待は行われていない	10	2	0	0	12 (7)
③	プライバシーが守られている	3	7	2	0	12 (7)
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	5	1	0	11 (8)
⑤	適正な個人情報の管理ができています	4	7	1	0	12 (7)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者尊厳の勉強会を年 1 回計画している。 ● 虐待防止に努めている。 ● トイレ内にパットを預かり、他利用者にパット交換をしていることが分からないようにしている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ● サービス予定表、薬BOXをご利用者が見ている。見やすい状態である。 ● 職員体制が少ない時は、言葉で利用者の動きを制止することがある。 ● 落ち着かなくなったご利用者について「そこに座って下さい」と声をかけてしまう。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
“私のこだわりシート”の情報をチームとして活用し、不安や不快な思いを、その方の立場になって考える。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人嵐山寮	代表者	寺本 演夫	法人・事業所の特徴	法人は京都市右京区嵯峨の地で創立 60 年を超えた歴史のある高齢者介護福祉施設です。玄関から一歩中に入ると、白木と障子をふんだんに使った温もりのある空間となっています。学区や町内会の行事にも参加をして地域交流にも力を注いでいます。ご利用者の「その人らしさ」を追及し、元来楽しみとされていたことを実現できる環境づくりを目指しています。また地域で安心して、住み慣れた自宅での生活を継続できるように「手を出し過ぎない援助」を心がけ、「さかの」が楽しい外出場所であり、ご本人やご家族の心のよりどころとなることを目指しています。事業所には狭い場所ではありますが「ハッピーサロンさかの」（地域交流スペース）を設置し地域で活用して頂けるように無料で貸出ししています。
事業所名	嵐山寮 小規模多機能施設さかの	管理者	小村 幸紘		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	3人	0人	0人	1人	0人	5人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事前に9つの評価項目を全職員に配布・説明し、意識して評価できるように取り組んでいきます。	調理パート・運転手も含む全従業員で自己評価を実施。事業運営に対する意識を共有できた。	書類から全職員が自己評価されている事が確認できる。	事業所自己評価での課題である、利用者の暮らしの把握について、新しいアセスメントシートを作成し活用する。
B. 事業所のしつらえ・環境	継続して事業所行事を遂行していく。一か月に一回、最低年12回の行事開催し来訪者を増やし意見を積極的に収集します。	編み物サロンに追加で書道教室を新たに開催。来訪者を増やす取り組みを行っている	・高齢者に限定しない活動を検討してはどうか。 ・フェイスブック、掲示板で宣伝。高齢者はインターネットで伝わりにくいのでは。	①月1回の『編み物サロン』と『書道教室』を継続して実施します。 ②『おはよう・おかえり活動』により地域の方々にとって身近な事業所となるよう努めます。
C. 事業所と地域のかかわり	ボランティア、人員調整等により、地域に出向く機会を最低年5回以上、計画的に実施していきます。	地域ボランティアの定着。地域行事への参加も5回以上実施。(夏祭り・地蔵盆・秋祭り・えがおワールド・体育祭など)	・えがおワールドへ設営スタッフ参加はありがたい。 ・事業所で人員調整し利用者の参加を促すとよい。 ・清水町秋祭りとの共催を検討してはどうか。	①地域行事、地域イベント、地域ケア会議、地域支援事業に年10回以上参加をします。 ②関係機関に『空き状況のお知らせ』または『事業所案内』を月1回以上お送りします。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	課題が発生しているご利用者を中心に、民生児童委員及び老人福祉委員と連携を取ります。地域ケア会議等に必ず出席し、当該委員との連携を強化します。	地域ケア会議にはすべて出席。課題発生時のご利用者について、地域役員、近隣住民との連携を強化している。	・地域の行事やイベントに参加されている高齢者は全体の1割である。 ・元気すぎる方と動けない人は参加が難しい。	地域会合、寄合に限りハッピーサロンの貸出し時間を拡大し、許可を頂けた場合は職員も参加をさせて頂き地域のニーズ把握に努めます。
E. 運営推進会議を活かした取組み	次期は地域ニーズに対して、事業所が対応出来る事、当該運営推進会議で協議して対応して行けることを検討していきます。	課題が発生しているご利用者の事例を検討。行方不明時における対応を当該会議にて協議した。地域ニーズに対しての協議を毎回検討。	家から出て道に迷うご利用者がおられるとのことで、近隣には事業所に連絡していただくようにしています。	引き続き、地域ニーズに対して、事業所が対応出来る事、当該運営推進会議で協議して対応して行けることを検討していきます。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>次期も年5回の防災訓練を計画的に実施していきます。また学区で開催されている防災等訓練にも積極的に参加し、連携体制を協議していきます。</p>	<p>計画通り避難訓練を実施。学区防災訓練に出席予定であったが、緊急対応と重なり欠席。</p>	<p>夜間想定避難訓練を実施しているが職員一人時間帯でどこまで誘導できるのでしょうか。近隣の協力が必要ではないか。</p>	<p>①地域の防災訓練に積極的に参加し連携体制を協議します。 ②次期も年5回の自衛消防訓練を計画的に実施します。 ③風水害に関する防災訓練を年1回実施します。</p>
----------------------------	---	---	---	---